

年末年始のお知らせ

市役所は
年内27日(金)までです

ご確認ください救急当番医

●内科 9:00~17:00 (芦屋市医師会 ☎32-2000)

12月29日	重信医院(内、小)	西藏町11-24	☎22-0329
12月30日	山田医院(内)	南宮町11-16	☎22-9351
12月31日	柿沼医院(婦、内)	公光町7-11	☎31-1234
1月1日	吉田内科クリニック	茶屋之町2-21-305	☎38-7210
1月1日	広野医院(内、外)	浜芦屋町6-4	☎23-1363
1月2日	重信医院(内、小)	西山町11-3	☎31-2480
1月2日	山下医院(内、外)	川西町2-35	☎22-5124
1月3日	岡内科小児科医院	岩園町5-18	☎23-0401
1月3日	中村医院(内)	精道町2-4	☎23-0468

●歯科 9:00~12:00 (芦屋市歯科医師会 ☎23-6471)

12月29日	あらまき歯科医院	川西町15-20	☎34-6483
12月30日	坪内歯科医院	精道町6-10-103	☎22-1712
12月31日	にしき歯科医院	浜町2-11-101	☎23-6430
1月1日	長谷川歯科医院	宮塚町7-11	☎34-0212
1月2日	吉崎歯科医院	前田町2-11	☎31-8020
1月3日	渡辺矯正小児歯科	船戸町3-5	☎31-5939

夜間在宅輪番

●時間…夜間(毎日) 21時~翌7時	耳鼻咽喉科・眼科の急病診療 ●時間…12月30日~1月4日 9時~翌朝6時
●問い合わせ…消防本部 (☎32-2345)	●場所…尼崎医療センター (尼崎市水堂町3-15-20) ☎06-436-8701

市役所は、年末は二十七日(金)午後五時十五分まで、年始は一月六日(月)午前九時から業務を行います。

年末は、例年市民課窓口など大変混雑します。また、年末年始は、ごみの収集日が通常と異なりますので、ご注意ください。

休業期間中も、出生届、死亡届などは市役所直室で受け付けています。

年末年始の問い合わせは、市役所代表電話(☎2121)へ。

◆死獣の引き取り◆

<年末> 12月28日(土)から30日(月)午前10時30分までの受け付け分は、30日に收容します。30日午前10時30分から31日(火)午前10時30分までの受け付け分は、31日に收容します。

<年始> 12月31日(火)午前10時30分を過ぎてから1月4日(土)午前10時30分までの受け付け分は、4日に收容します。4日午前10時30分以後の受け付け分は、1月6日(月)に收容します。

問い合わせは、環境管理課(☎38-2050)へ。



間違いのないようお出してください

ごみの収集日など

●燃えるごみ(午前8時30分までに出してください)

曜日区分	年末(最終)	年始(最初)
月・水・金地区	30日(月)	6日(月)
火・木・土地区	*29日(日)	4日(土)

*29日は日曜日ですが、臨時収集します。

●燃えないごみ(午後0時30分までに出してください)

収集地区	年末(最終)	年始(最初)
月曜日地区	30日その他の日	13日ビンの日
火曜日地区	24日カンの日	7日カンの日
水曜日地区	25日カンの日	8日カンの日
木曜日地区	26日カンの日	9日カンの日
金曜日地区	27日カンの日	10日カンの日

●不燃性資源ごみ(芦屋浜)

収集地区	年末(最終)	年始(最初)
浜風町	30日	13日
緑町	25日	8日
若葉町	30日	13日
高浜町	30日	13日
潮見町	27日	10日
新浜町	25日	8日

●大型ごみ
年末は、12月28日(土)まで通常のサイクルで収集
年始は、1月6日(月)から収集

●年末の特別収集
申し込みは、12月25日(水)までに
収集最終日は、12月30日(月)です
以上の問い合わせは、環境サービス課(☎22-2155)へ。

□環境処理センターへの持ち込み
年末は、12月31日(火)正午まで(30日は平常通り)
年始は、1月4日(土)から平常通り

□芦屋浜シーサイドタウン、パイプライン輸送(宮川以東)
年末は、12月31日(火)正午まで
年始は、1月4日(土)午前9時から
年末年始は普段よりごみが多いため長時間投入できないことがあります。特に、31日(火)は混雑が予想されますので30日(月)までに計画的に投入してください。
ただし、宮川以西については、年末最終が12月30日まで、年始は1月6日から収集します。
以上の問い合わせは、環境施設課(☎32-5391)へ。

主な施設のカレンダー

体育館・青少年センターは、閉鎖中です

施設名	日曜日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
市役所・市民サービスコーナー		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
芦屋病院		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
保健センター		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
市民センター(市民会館・公民館)		○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
福祉会館・老人福祉会館		○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
公民館図書室		○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
集会所(打出、竹園、朝日ヶ丘、潮見、奥池、茶屋)		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○
集会所(翠ヶ丘、前田、春日、浜風、西藏)		×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×
集会所(大原)		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×
図書館		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○
図書館大原分室・打出分室		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
美術博物館		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○
谷崎潤一郎記念館		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○
上宮川文化センター		○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
打出教育文化センター		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
富田碎花旧居		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○

ごあんない REPORT

おしらせ

●女性センターの相談
●日時…毎週月曜日13時～16時（予約必要）
●内容…家族関係、夫婦関係など
●申し込み…女性センター ☎38-2022

●平成9年度保育所入所児童受け付け
●対象…市内在住で保護者が就労などのため保育できない家庭の児童●年齢…生後3か月経過後～満5歳●受付期間…1月6日（月）～1月24日（金）●問い合わせ…保育課 ☎38-2045

●1月9日から
●ルナ・ホールの申込受付を再開
●使用開始日…平成9年7月2日（水）（平成10年1月末までの申し込み可）
●休館日…毎週火曜日●申し込み…平成9年1月9日（木）9時30分～（申請用紙は9時から配布）●受付場所…市民センター別館2階受付（215室）。市民センター利用者カードを持参。地震による紛失の場合は再発行します●問い合わせ…芦屋市文化振興財団 ☎31-4995

●阪神・淡路百名所づくり
阪神・淡路地区の名所として、観光客が訪れたいようなような、施設、エリア、スポット、名物、イベントのアイデア等を12月まで募集しています。
詳しくは、（財）阪神・淡路産業復興推進機構 ☎078-360-1058 へ。

●ひょうご県民住宅入居者募集
●募集期間…12月18日（水）まで●入居予定日…平成9年3月15日●住宅名…ベアトリス（大東町）●募集戸数…19戸●間取り…3LDK、3LDK+N（76.36㎡～82.08㎡）●家賃（入居者負担額）…7万円～15万5000円●共益費…1万4000円●入居資格…被災者優先、収入基準等の条件あり●問い合わせ…県住宅建設課 ☎078-362-4303
*この記事を本紙12月1日号に掲載した際、問い合わせに誤りがありました。正しい電話番号は上記のとおりです。訂正し、お詫びいたします。

納期

●固定資産税・都市計画税（第3期分）
●課税課税固定資産税係☎38-2017
→納期限 12月25日（水）
●法人市民税・事業所税（10月決算法人等）
●課税課税係☎38-2015
→納期限 平成9年1月6日（月）

毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」



市内で見かけたらご協力をお願いします（あしやNOWの撮影現場）

●12月後半の番組内容 12/16～31
あしやNOW（防災計画について他）
フレッシュリポート（年末の防火防犯）
リポーター企画番組（ポニーと暮らせる日）
みんなであつたお（緑保育所・浜教会）
広報カメラ撮りつきり（健康福祉フェア他）
健康ホップ・ステップ（立ちストレッチ体操）
緑化協会（松竹梅の作り方）

「みんなであつたお」のビデオの貸し出しをしていきます。希望者はご連絡ください。

「健康ホップ・ステップ」のビデオの貸し出しをしていきます。希望者はご連絡ください。

がんばってます

皆さまの温かい心を糧に

加瀬 君子（奥山在住）

多くの「人と物」に出会いたい。そう思って市民リポーターに参加して9か月が過ぎました。カメラの前に立つという日常とは異なる緊張感に、多くのかたがたから貴重なお話を伺う楽しさに、新鮮な感動を味わっています。

取材に訪れると、皆さん心より迎えてくださいます。熱心に語っていただく未知の分野に新たな関心を抱いたり、お見せいただく技に仕事さ晴らしさを見いだしたりします。

たっぷり時間をかけて聴かせていただいたおもしろいお話も、番組の時間的な制約でカットしなければならないことがあります。そんな折りは心苦しく、申し訳ない思いでいっぱいです。皆さんからいただく温かい心を大切に、丹念な番組づくりをと願っています。

市の今の動きと情報をお届けする「あしやNOW」、旬の出来事や特定月間のテーマを問題提起する「フレッシュリポート」、そしてリポーターが企画立案する「リポーター企画番組」の3本は、いずれも15分～20分の放映ですが、撮影は1日かけて行きます。なかなか厳しい現場ですが、物をつくりあげてゆくその真剣な場に身を置く心地よさがあります。市のスタッフ、ディレクター、カメラ、音響、照明さんたちケーブルテレビのスタッフ、そしてリポーターの仲間たち。番組をめぐめる人々の情熱と出会い、これも嬉しいことでした。

あの大震災からの復興の雑音が今日も聞えます。辛く苦しい体験でしたが、そんななかでも「人は素晴らしい」と心底思うことに出会えました。心に灯をともしように元気に立ち上がる姿を忘れぬよう、記録にとどめなければなりません。

山に向かって、海に向かって歩くとき、芦屋のまちはいいと感じます。四季折々の自然もお届けしたい、役立つ情報もお届けしたい。あれもこれもと欲張りに気を吐いています。今後ともご支援のほどお願いいたします。



自分の可能性にChallenge

永坂 明子（岩園町在住）

まず、私は6歳から16歳までの10年間はアメリカで過ごした帰国子女であることを話しておかなければならない。「広報あしや」にリポーター募集の記事が載っているわよ。Challengeしてみたら？。母から聞いたのは昨年のごごろだったのだろうか。

帰国後、未知の世界に放り出されたという感じで、必死の思いで1年余りを過ごしたそんなころ。リポーターなんてとても無理だろうというためらいと、一方で、アメリカで育まれた積極的な性格からか、ぜひやってみようという思いが交錯し、結局勇気を出してChallengeした。

面接試験の日、受付で台本を渡され、私は青ざめた。読めない漢字がたくさんあった。もう帰りたい、とPanic状態になったが、これもいい勉強だと自分に言い聞かせて面接会場へ入っていった。Luckyだったことに3人ずつの面接で、私は最後に質問された。だから読めなかった漢字も前の2人が読んでいるのを見て、何とか無事終ることができた。しかしながら、「と謝野晶子」の「晶子」を「まさ」と読んでしまうという大失敗もあった。私はあまりの恥ずかしさに、もう二度と市役所へ出入りしたくないと思った。

しかし、何故かこんな私が採用されたのだ。これが私にどれほどの自信を持たせてくれたか。

初仕事は「さくらまつり」のリポート。セリフを忘れてらうしよう、どもつたらどうしよう…。当時はまだ人と会話するものごとなくこちなく、怖かった。案の定最初はうまくいかなかったが、スタッフは「何べんやってもいいよ」と温かく見守ってくれた。

出来上がった番組を見たときははたらくなく嬉しかった。私にもできた、役に立ったのだ。それは私にとって大きな励みとなり、いつまでも甘えていられない、日本でもがんばるぞという意識につながっていった。その後いくつかのリポートをしたが、その度に新しい発見と出会いがあった。これからもいろいろな人とのかついでにさらに成長したいと思う。

市役所からのお知らせ

市内の楽しい話題やイベントも

身近で便利な暮らしの情報も

みんなで見よう9チャンネル

芦屋市広報チャンネル

本市のケーブルテレビ局「ケーブルコミュニケーション芦屋（CCA）」は、市制50周年の平成2年10月に開局されました。そして、そのときからチャンネルの1つ（9チャンネル）を「芦屋市広報チャンネル」として、テレビを通じて、市からの情報提供がスタートしました。
阪神・淡路大震災では、放送設備も大きな被害を受けましたが、2月中旬からは、毎日新しい情報を流し続け、多くの市民のかたから「役に立った」という感謝の言葉をいただきました。
これからも「広報あしや」とともに、市と市民の皆さまを結ぶ広報媒体としてより多くの情報をお届けしていきますのでよろしくお願いします。

広報チャンネルに関する問い合わせ ☎38-2006
ケーブルテレビ加入に関する問い合わせ CCA ☎0120-181-344



収録したテープはCCAで編集される



撮影日までに十分な打ち合わせが必要

市役所制作している番組は右図のとおりで、月2回番組の内容をアップして協力して取材のうえ、台本を作ることから始まります。打ち合わせ、撮影、編集を経て、放送までに1つの番組につき約1か月かかります。また、1～2か月に1回行う市民リポーター会議でもいろいろなアイデアを出し合います。

どうやって番組を作ってるの？
広報チャンネルの番組は、広報課で内容を企画し、CCAのスタッフと協力して取材のうえ、台本を作ることから始まります。打ち合わせ、撮影、編集を経て、放送までに1つの番組につき約1か月かかります。また、1～2か月に1回行う市民リポーター会議でもいろいろなアイデアを出し合います。

あなたも参加してみませんか

広報チャンネルは市民の皆さんの番組です。「行政のここが知りたい」など番組に関するご希望をどしどしお寄せください。まちの話題や地域の催しなどの情報もお待ちしています。スタッフは街頭インタビューや取材などで市内のあちこちを訪ねています。あなたのところへうかがったときには、ぜひご協力ください。

第4期 市民リポーター募集中

● あなたの個性とアイデアで私たちと一緒に楽しい番組をつくってみませんか。
● 内容 C A T V 広報チャンネルの番組企画、リポートなど
● 日数 1番組につき2～3日、ほかにリポーター会議月1回程度
● 資格 市内在住で18歳以上のかた（男女問いません）、若干名
● 謝礼 1番組につき1万円（所得税含む）
● 応募方法 ①やってみよう番組を見たときははたらくなく嬉しかった。私にもできた、役に立ったのだ。それは私にとって大きな励みとなり、いつまでも甘えていられない、日本でもがんばるぞという意識につながっていった。その後いくつかのリポートをしたが、その度に新しい発見と出会いがあった。これからもいろいろな人とのかついでにさらに成長したいと思う。
②応募の動機を書き、市販の履歴書（写真貼付）を添えて封書で広報課（精道町7-6）へ。1月6日（月）必着。応募書類は返却しません

番組内容と放映時間

平成8年12月現在。内容は変更になる場合あり

あしやNOW
15分
市の今の動き、広報紙からのお知らせ、くらしの情報などをタイムリーにお知らせします

フレッシュリポート
15分
まちの話題や復興リポートなどを市民リポーターが市民にわかりやすく紹介します

みんなであつたお
7分
幼稚園や保育所の児童をはじめ、いろいろなグループが楽しく歌を歌います

広報カメラ撮りつきり
13分
市内の催しなどを広報課のビデオカメラを使って、ドキュメント風に放映します

文字ニュース
10分
大型ゴミ、日曜祝日当番医を文字放送でお知らせします

市民リポーター企画番組
20分
リポーターが市民の立場から企画やテーマを練り制作した番組です

健康ホップ・ステップ
10分
子どもから高齢者まで、手軽にできる心身ともにリラックスのできる体操番組です

花と緑のクリニック
20分
緑化協会の協力で以前放映した緑化に関する番組の再放送です（平成8年1月まで）

ナレーション入り文字ニュース
10分
「広報あしや」から主な内容をナレーション入りの文字放送でお知らせします

にっぽんみたま
30分
総理府の作成による番組を放映します

ひょうごチャンネル
30分
県広報課が県下のケーブルテレビ局の協力を得て作成した番組を毎週月曜日ごとに更新し放映します

曜日ごとに1時間ずつずらして、繰り返し放映しています

時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
月曜日	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目
火曜日	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目
水曜日	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目
土曜日	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目	2時目	3時目	1時目

芦屋で「奥の細道」自筆本発見 市長からのメッセージ 14

▽俳人・松尾芭蕉の自筆本「奥の細道」の発見は、私たちにとても大きな驚きでした。その所有者は市内にお住まいの中尾堅一郎さんで、震災後、半壊の自宅から取り出されたそうです。中尾さんが、十二月二日、大阪市立博物館に自筆本を寄託される途中市役所にお披露目に来られました。芭蕉の美しい丁寧な文字の美しさを、書き出しに直接接し、とても感動しました。書き出しの「一月日は百代の過客にして行きかふ年も又旅人なり」は誰もが一度は口にしたことがある有名な言葉です。師走から新年に向かう季節にふさわしいニュースでうれしく思います。

▽詩歌といえば、第七回富田砕花賞に深津朝雄さんの詩集「石の蔵」が選ばれました。石蔵人であったお父さんが歳月をかけて残した石の蔵を引き継いだ作者の、父への深い思いをうたわれたものでした。年々富田砕花賞への評価が高まり、応募数も多くなっています。私は授賞式で「芦屋市は大きな被害を受けましたが、多くの人の温かい心を感じました。この芦屋から年々いろいろな作品を生み出し、日本人の心々々々を温めていただけることはすばらしいことだと思います」とお祝いを申し上げました。

▽同じ十一月に、この道一筋三十年の技能労務表彰と結婚五十年の金婚夫婦お祝いの会がありました。建築大工や左官、造園、配管工などが永年従事しておられる受賞者のかたがたは「芦屋の復興に自分の手で直接携わることができ、感無量です」と感想を述べられました。また金婚式を仮設住宅で迎えられたご夫婦もおられました。ご夫婦で被災乗り越えていくそのお姿に、いたわりと愛情をひしひしと感じました。

▽まだまだ震災から二年がすぎます。少しずつ復興は進んでいますが、残された課題もたくさんございます。来年はまちづくり、公営住宅の建設が本格化する年です。市民の皆さまと共に復興を進めてまいりますので、いろいろのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

芦屋市長 春江
北村 春江
手袋をして自筆本を見る北村市長と河上市議会議長。左が中尾さん

こちら消費生活センターです
経済課消費生活係 ☎38-2034

消費生活コーナーへお立ち寄りください
十月一日から消費生活コーナーが再開されました。消費生活に関する図書・ビデオ・冊子類、啓発パネルの他に、リサイクル・リフォーム作品を展示しています。ぜひ一度ご来場ください。
展示作品を見た市民の皆さんから「作り方を教えてください」との声が多くなりました。また、ミニリサイクル教室を開催します。

今後毎月教室を開催していきますのでお気軽にご参加ください（第一月曜午後）

芦屋 あすに向かって
芦屋青少年少女合唱団
クリスマス・チャリティコンサート
日時 12月22日（日）午後2時開演
会場 ラ・モール芦屋1階アトリウム
入場料 無料
プログラム
●世界のクリスマスソング
●子供のクリスマスソング
●クリスマスキャロル
●/アヴェ・マリア 他

問い合わせ 芦屋市文化振興財団 事業部 ☎31-4962

ミニリサイクル教室
日時 1月24日（金）
午後1時～4時
消費生活コーナー
場所 ①小物入れ（トレー）
②花びん
持物 ①発泡スチロールのトレイ
②牛乳パック、カッター
③④とも物差し、はさみ、和紙

21世紀へ ホップ・ステップ・ジャンプ

21世紀にむけて、食生活や健康を考え、国際社会に生きる人づくりをめざし、芦屋市学校給食展・市立中学校英語祭を開催しました。

E・D・U・C・A・T・I・O・N 教の育 ペー ジ

このページの問い合わせは
学校教育課(☎38-2087)へ

第10回 芦屋市学校給食展

十一月十二日（火）から十四日（木）の三日間、ラ・モール芦屋で芦屋市学校給食展を開催し、六百人を越える参加者がありました。

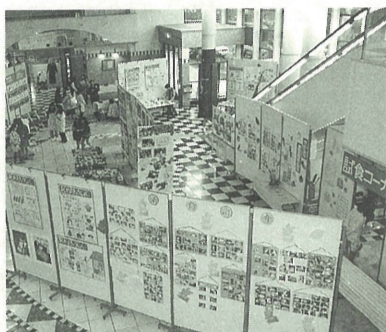
「健康コーナー」では、「スポーツダイエット」（食事を減らすのではなく、運動によってエネルギーを消費して脂肪を防ぐ）を重点的にとりあげました。体脂肪を増やさないために日ごろから運動をとり入れるよう、エアロバイクやダンベルなども体験できるように展示し、昨年好評を博した体脂肪測定を今年も実施しました。

「クイズコーナー」では、スタンプリ形式で食に関するクイズを出題しました。参加者にはもちろん参加賞を渡し、喜んでいただけました。

毎年恒例の「試食コーナー」は、0-157の影響で品数を六品に減らし、実施時間も一時間に限っての実施でしたが、子どものころ食べた給食をなつかしがる保護者や、アイデアを生かした献立について熱心に質問する市民の姿がみられました。

食事についてのアンケートを実施

また、平成三年度と同じ「食事についてのアンケート」を今年度も実



給食展展示風景

施し、比較検討を行いました。その結果、「朝食を食べなかつた」という回答が前回よりも増え、子どもたちの生活が少しずつ「夜型」になっていることがわかりました。アンケートの結果を今後の芦屋の子どもの「栄養教育」に生かしていきたいと考えています。



子どもたちでにぎわう給食展

ぶどう 『一房の葡萄』 を読んで

山手中学校3年 西口 珠貴

芦屋市学校図書館協議会では、市内の小中学校の児童生徒の読書感想文集を作成して、子どもたちが本に親しむきっかけづくりをしています

主人公の「ぼく」は、どうしてもマープル色の絵の具が欲しくてジムの絵の具をとってしまいます。人のものをとることは決して許されることではありませんが、私は、「ぼく」を単純に悪いと思えない所があります。うまく言うことができませんが、人間の心の中には、善と悪があってその二つのぶつかりあいの中で、実際にその行動をしようかという問題ではないかと思えます。「ぼく」は悪に負けてしまった。それで絵の具をとってしまいました。でも、そんな単純なものだけではなく、何か人間の心のむずかしい割り切れないものがあるように思えます。だから、この物語に登場する先生は、決して怒らずに「ぼく」に大切な事を教えて下さったのだと思います。私の兄が「人を罰せず、罪を罰する」という言葉を教えてくれたことがあります。そのとおりではないかと思えます。先生は、「ぼく」を罰するのではなく、絵の具をとったということをおしてみんなに学ぶべきことを教えたのだと思います。

私の学校でも、いろいろなことがあり、いろいろな事が起こります。いつも注意される人、いつも同じことをくり返している人、そしていつも注意する立場に立っている人、もしこの物語に出てくるような先生がいたら、みんなもっと楽しくすごせるのと思えます。みんな口に出さなくても、誰かにほめられたい、認められたいと思っています。誰も自分から悪事を働いて、怒られようなどと考えていないはず。どちらかというところ、そういった態度をとる人ほど、人に認められたいと思えるような気がします。もし、私が、この「ぼく」のように怒られるのではなく一房の葡萄をもらったら、私は、一生そのことを忘れないし、二度と同じ事はくり返さないとします。

今の私達には、周りをよく見るということができなくなっているように感じます。もし、みんながもっと周りのことを見ることができて、周りのことが考えられるようになれば、私達は大きく変わります。

「ぼく」が絵の具をとった翌日、「ぼく」は先生に言われたように学校へ行きました。そして、ジムから握手を求められます。私は、手をさしのべたジムも手をひばられて握手を受けた「ぼく」も、とても勇気がいったと思います。お互いや周りのこと、そして、何よりも自分自身をしっかりと見つめ直してこそできた事だと思います。自分を真正面から見つめることは、口で言うほど簡単ではありません。私はそれができませんでした。

中学1年、2年の時、私は学年会に入って、「自分は精一杯やっている」と思っていました。しかし、自分を見つめることが全然できていなかったのです。私は人にばかり注意して、自分が一番見つめていなければならぬ自分自身を見失っていました。でもこの物語を読んで、少しは自分が変わることができたと思えますし、自分をしっかりと見つめて少しずつでも変わっていったらいいなと思えます。この本は、許すことの大切さを教えてくれました。私もいつかこの先生のように自分も周りも受けとめられる大人になりたいです。

平成8年度優良PTA文部大臣表彰 精道中学校育友会が受賞

精道中学校育友会は、十一月二十日に平成八年度優良PTA文部大臣表彰を受けました。同育友会が学校と協力して震災後の意識調査や記録誌の発行、心のケアなどの復興に努めたこと、学校の美化に協力して第三十二回全国花いっぱいコンクールで国土庁長官賞を受賞、十年以上継続したあいさつ運動などが評価されたものです。十一月二十九日には、育友会の代表が市長を表彰訪問し、懇談しました。

現在、精道中学校では、十年以上継続したあいさつ運動を中心としながら、学校とPTAが連携して、学校づくりを推進しています。登校時二十分間、教師・生徒とともに登校する生徒に声をかけ、地域のパトロールなどをすすめたことは、生徒指導に大きな役割を果たしました。



市長に文部大臣表彰の報告をする精道中学校育友会代表

第12回 市立中学校英語祭



中学校英語祭での発表風景

英語の授業やE・S・Sの発表の場として、コミュニケーション能力の育成を目指して始まった英語祭も今年度で十二年目を迎えました。各学校においても、生徒の英語学習の年間行事となっており、毎年新しい工夫が凝らされるようになってい

今年度は、十一月十六日（土）の午後、市民センター別館音楽室において暗唱、スピーチ、海外派遣生のホームステイレポート、E・S・Sの発表が行われました。E・S・Sは今回、ミュージカル「サウンドオブミュージック」を英語で演じました。出演者は、全員豊かな英語で表現し、日ごろの熱心な学習の様子や、本来の目的である日常の授業活動の充実がうかがえました。また、市立芦屋高校英語類型を選択している生徒の特別参加もあり、大盛況のうちに幕を閉じました。